



日和佐中通信

2025(令和7)年11月

第7号

発行責任者:影田博徳



頑張る姿

秋の深まりを感じる間もなく、冬の足音がすぐそこまで聞こえてくる季節となりました。朝夕の冷え込みが一段と厳しくなり、木々の葉も色づきから落葉へと移り変わっています。短い秋を惜しみつつ、生徒たちは元気に日々の学びに励んでいます。長い二学期も残すところ1ヶ月余りとなりました。その間、様々な学校行事や各種大会がありました。南部ブロック新人大会、文化祭、郡中駅伝競走大会、民音学校コンサート、県中学校新人大会、保育実習、郡中音楽祭、職場体験学習等々…。本当に息つく暇もないほどのあわただしい毎日だったと思います。そんな毎日の中でも生徒たちはひたむきに、誠実に取り組み大きく成長しました。

今月の全校朝会で賞状伝達を行いました。たくさんの賞状の枚数に驚きました。のべ22名の生徒に賞状を手渡すことができました。今までの努力の証です。しかし、惜しくも表彰には手が届きませんでしたが、自分なりに精一杯努力した生徒もたくさんいます。努力をすることに違いはありません。目の前の一つ一つの出来事から逃げ出さずに、ひたむきに頑張る姿は本当に素敵だと思います。なぜなら、その姿は人に元気と勇気を与えるからです。今学期、私は頑張る生徒たちからたくさんの元気と勇気をもらいました。本当にありがとうございます。

これまで数多くの学校行事がありましたが、その都度生徒たちは「協力する力」「挑戦する心」「感謝の気持ち」を育んでいます。このように学校行事は単なるイベントではなく、これから的人生の糧となる経験だと私は考えます。今後も、こうした機会を大切にしながら、生徒一人ひとりの成長を見守っていきたいと思います。

☆文化祭

展示・表現とも、すべての企画にそれぞれの個性と創意工夫が光っていました。



☆駅伝競走大会

一本のたすきに思いを込めて力走しました。見事男女ともに優勝です。



☆郡中音楽会

力強く、美しい歌声が体育館に響き渡りました。



☆職場体験学習

働くことの意義や尊さを学びました。事業所の皆様、ありがとうございました。

